

夫はなされたのか。また、指定管理者の選定については、市内の事業所はどのように考慮されるのか。

市長

(1)懇話会からの提言をもとに新幹線を活用したまちづくり基本方針案に反映させ、パブリックコメント等を行い、今年度中に基本方針を策定する。来年度以降、基本構想や基本計画を策定し、具体的に決定していきたい。また、鉄道・運輸機構に直接要望できるものとしては、駅舎のデザインや駅名について地元の意見を反映することができ、新駅の出入り口については、新駅の西側はJ・R大村線をまたいで全面住宅地であることから、懇話会で議論し必要性等を検討していきたい。駅前の整備も、基本構想や基本計画に基づき、24年度から本格的に事業に着手していく予定である。

総務部理事

(2)平成21年度から計画している一般競争入札の対象範囲の拡大等の入札制度改正に合わせ、市内業者数が足りない業種については最低限指名業者数を現在の7者から減少できないか、競争性の確保と市内業者の保護、育成とを論点として、大村市入札制度検討委員会で協議・検討していきたい。

企画部長

審議会に対し、日頃から地域で頑張っている地元企業

や団体について、地場産業の振興、地域と密着した活動実績などを総合的に評価していただきたいと申し入れている。

(その他の質問事項)

・公共施設、公園、小中学校等の障害者用トイレや洋式トイレの総合的な実態把握と計画的な整備を。
・次世代政策研究事業は、3事業に限らず、もっと若手職員の提案を生かすべき。

松本市長マニフェストの中間検証と県庁舎誘致について

村崎議員

(1)2年前の市長選で掲げたマニフェスト(公約)の達成状況について議論する。

大村市の審議会、委員会の構成メンバー及び、市役所の部長、課長への女性登用率を現在の2倍にする」と具体的に掲げているが、実態はどうか?

競艇事業は「平成18年度に黒字3億円達成」を目標に掲げられたが、結果は1・8億円だった。また、「市立病院の再生プランを達成し、赤字(不良債務)を0にする」と掲げられていた。結果的には、再生プランは達成できず、公設民営化することになった。競艇事業と市立病院につ

いては、当初から達成不可能な目標をマニフェストに掲げていたのであれば、市民に対する明らかな背信行為だ。目標設定の際に、どのような裏づけを取られたのか?そして、結果に対する市長の総括をお願いしたい。

(2)西日本新聞、毎日新聞で長崎県庁舎誘致を表明された。誘致に向けて、具体的に行動を開始されるのか?そのために、どのような手法を考えているのか?

市長

(1)市の審議会・委員会の構成メンバーにおける女性の登用率は、平成18年4月時が23%であり、20年4月時は21%となっている。また、市役所の部長、課長への女性登用率は、平成18年4月で6・4%、19年で8・9%、20年4月では、市立病院の指定管理者への移行により3・6%となっている。

ボート事業における黒字達成額が、18年度は大きく下回ったことは、反省せざるを得ないと思っているが、一般会計に繰り入れることができないう現状を何とかしたいという約束については、実現することができた。

市立病院については、公設民営による再建を目指してきたが、医師確保の問題や医療を取り巻く環境がさらに厳しくなったことで、経営形態の見直しが必要であると判断した。4月から指



定管理者制度を導入し、市立大村市民病院をスタートさせたため、今後大村市としての不良債務は発生しないこととなった。この部分については、達成できたと確信している。

(2)まずマスメディアでオープンにした。そして、大村市内各地区をできるだけ回り、地域住民の方々へ私の気持ちや意見交換を積極的に行いたい。

「運動性」のある市政運営を やっていきましょう

園田議員

(1)市立大村市民病院について 公設民営化開始に伴い、3月及び6月議会にて提出を求めた、新たな収支計画により設計された、短期・中期・長期的経営ビジョンが未だに示されていない。設置者である市と共に、経営・医療・意識的側面から協議検討された数値的根拠に裏打ちされた内容での提示を再度強く求める。これができないことは、市民に対する背信行為である。